議会報告会・意見交換会

松田町議会では、7月18日（土）午後7時に寄小学校屋内運動場多目的ルーム（8名参加）、25日（土）午後7時に生涯学習センター展示ホール（15名参加）で、議会報告会・意見交換会を開催しましたので、その概要についてお知らせします。

総務文教常任委員会報告

松田町議会に設置されている4つの委員会の一つで、議員6名で構成され、町政の中でも特に
・行政運営の根幹（総務・政策推進）
・教育・生涯学習（文教）
等に関する事務の調査や議案、請願、陳情等の審査を担っています。

また、現在、委員会独自の研究テーマとして「松田町の幼児から児童までの子育て支援」「松田町AIオンデマンド交通実証実験事業に関する調査について」を取り扱っています。

1　ボトルドウォーター生産施設整備事業

期待される3つの成果
①水道会計への収入
年間最大約1500万円の料金収入
※施設利用事業者から年間約1463万円，約20年間貸すことで持ち出し金を回収
②地域経済への効果
最大15人程度の雇用で地域の雇用創出
③ふるさと納税への活用
ボトルドウォーターを返礼品に活用

2　交通空白解消事業

既存路線バス網およびタクシーを補完する新たな交通サービス

参加者　**ボトルドウォーター事業について、物を作って売るという事だが売れる見込みは。**

議員　ふるさと納税返礼品としてペットボトルの水を活用することも考えてはいるが、一番の目的は、寄の水道水を民間業者に販売することにより、寄簡易水道事業会計の新たな収益を生み出すことにより経営改善をし、またそれに伴い住民負担の軽減につなげることである。

参加者　**寄の中学生は、部活等の活動をしていると、土日も含め朝夕の便がないので、親が送るか遅れて行くしかない。**

参加者　**交通空白解消事業について、事業見込みが不明確の中での実証実験とは何だったのか。**

議員　この事業が実際に利用され、継続できる仕組みとなるかが重要。

現在、委員会で調査を行っている。安全性や利用状況、運営体制などをしっかり確認しながら、住民の皆様が安心して利用できる交通手段となるよう注視していく。まとまり次第、委員会として報告をする。

産業厚生常任委員会報告

観光経済課、まちづくり課、環境上下水道課、福祉課、子育て健康課等に関する事務の調査や議案、請願、陳情等の審査を担っています。

委員6名で構成され、議会が開催されていない閉会中においても活動しており、現在、「松田山の活性化」について調査しています。

1　新松田駅周辺整備事業

①新松田駅周辺整備推進事業
総額　1億6590万円

市街地再開発準備組合が本組合の設立に向けて実施する施設建築物の基本設計や建物補償算定調査、土地評価調査などを行うための補助を実施する。また、駅前広場、道路、デッキなどの基本設計を行うための公共管理者負担金の支出や新松田駅北口橋上改札設計業務委託を実施する。

②新松田駅周辺整備基金
積立金　2億円

令和元年度から積み立てている「新松田駅周辺整備基金積立金」に2億円を積み立て、後年度の財政負担を軽減する。

令和8年度末の残高見込みは約12億円。

③新松田駅南口駅前広場整備事業
総額　1216万円

平成18年度に事業に着手し、継続して事業を推進しているが、令和8年度はエレベータ設置のための設計委託を実施する。

2　スポーツツーリズム推進拠点整備事業
総額　2億799万円

スポーツツーリズム推進のため、寄テニスコートを3面増設し、併せて既存のテニスコート3面を全面改修しリニューアルするとともに、管理施設の新設や駐車場の増設など、受入環境の整備と誘客活動を実施する。

また、萱沼地区にある古民家「安藤邸」の改修工事も実施する